

大会名称: **第72回国民体育大会
愛顔つなぐえひめ国体**

開催場所: **ツインドーム重信 Aコート**

試合区分: **No. 8 成年男子 準々決勝**

期 日: **2017(H29)年10月2日(月)**

開始時間: **15:45**

終了時間: **17:15**



主審: **白川 一樹**

副審: **渡邊 浩二**

福岡 (九州)	○ 86	● 69	愛媛 (開催地)
		18 - 16 21 - 11 18 - 19 29 - 23 - - -	

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	RB	AS
4	*	酒井 祐典	10	2	0	4	2	6	1
5	*	田中 喜陽	9	0	4	1	2	6	3
6	*	織田 秀司	19	3	5	0	2	1	1
7	*	寺園 脩斗	8	1	1	3	4	2	3
8	*	中深迫 諒太	2	0	1	0	1	2	0
9		赤星 雄平	0	0	0	0	0	4	2
10		伊集 貴也	17	3	3	2	1	2	1
11		三友 康平	-	-	-	-	-	-	-
12		久保田 義章	9	1	3	0	0	1	0
13		村瀬 敦希	0	0	0	0	1	0	0
14		毛利 孝志	12	2	3	0	0	6	4
15		森岡 裕大	0	0	0	0	2	2	0
HC		川面 剛 / TEAM							
		合計	86	12	20	10	15	32	15

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	RB	AS
4		上田 将貴	0	0	0	0	0	0	0
5		瀬戸 将軍	12	1	4	1	4	5	0
6		新宅 悠三	1	0	0	1	1	2	0
7	*	俊野 佳彦	9	1	3	0	3	2	1
8		石丸 知真	6	2	0	0	1	1	0
9	*	俊野 達彦	9	1	2	2	3	4	3
10	*	重本 和毅	14	0	6	2	1	12	2
11		西原 一清	0	0	0	0	0	0	0
12	*	周 率	16	0	7	2	0	11	0
13	*	幡本 優生	0	0	0	0	3	4	6
14		向井 祐介	2	0	1	0	0	0	0
15		井上 翔太	-	-	-	-	-	-	-
HC		岩田 翔 / TEAM							
		合計	69	5	23	8	16	41	12

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファウル RB: リバウンド AS: アシスト

第1ピリオド、両チームマンツーマンディフェンスでスタート。福岡県は出だし3Pで得点を狙うがリングに嫌われる。その間に愛媛県#7のドライブイン、3Pで得点する。福岡県は#6の速攻から回さも取れ動きが良くなる。対して愛媛県も#12や#10の攻撃で得点を重ね引き離しにかかる。しかし、残り3分から愛媛県の得点が止まる。その間に、福岡県#4と#10の3Pが決まり17-16と福岡県1点リードで第1ピリオド終了。

第2ピリオド、序盤はお互いに点を取り合う展開になったが、開始2分から福岡のディフェンスのプレッシャーが強くなり、愛媛県が攻めあぐむ場面が多くなる。残り5分に愛媛県タイムアウトを取るが流れは変わらず、福岡県は#10の3Pや外角のシュートなどで得点を重ね、15点差をつける。愛媛県は2回目のタイムアウトを取り、その後のフリースローで点差を縮め、39-27の福岡県12点リードで前半を折り返す。

第3ピリオド、福岡県は3Pや外角シュートで得点する。愛媛県も#12のインサイドや#9の3Pのバスケットカウントなどでついていく。愛媛県はディフェンスのプレッシャーを強めると、外角シュートも決まりはじめる。残り4分30秒で5点差になったところで福岡県はタイムアウトを取る。終盤福岡県は#14と#6の3Pで点差を広げ、57-46と福岡県11点リードで第3ピリオド終了。

第4ピリオド、序盤福岡県は#5の外角シュートなどで得点する。愛媛県も#8の3Pなどで差を縮めようとするが、福岡県は#14を基点としたバランスの良い攻めで得点を重ね、一時22点まで点差は広がる。愛媛県は、ディフェンスのプレッシャーを強め点差を縮めるも及ばず、86-69の17点差で福岡県が勝利した。福岡県の高い3Pの決定率と、ディフェンスの強さが光るゲームであった。大声援に応え、最後まであきらめず果敢に戦った愛媛県の頑張りも称えたい。

担当者: 荒井 慎也 (愛媛県バスケットボール協会) 日本体育協会・日本バスケットボール協会・愛媛県バスケットボール協会

